

アンチ 治安弾 圧



第三八回 全都反弾圧闘争に 参加してきました!

三六年つづく闘い

九月十四日東京代々木の日本青年館で行われた全都反弾圧闘争に南労会支部のK、Iが参加。

一九七六年から不当な争議弾圧に抗して闘う首都圏の仲間と、それに呼応する全国の争議団、労働組合が自力実力で刑事弾圧を粉碎すべく闘いが継続されてきた。私達も一九九六年二月二〇日、南労会経営が仕掛けた大弾圧以降、関西争議交流

会の一員として毎年参加し、三月開催の全国争議団交流集会を勝ち取ると共に相互交流と現場共闘を深めて来た。

現場闘争と争議団会議

集会、デモに先立ち前日の九月十三日、反弾圧闘争を呼びかける情宣行動を日比谷公園・霞門一帯で行った。続いて全国結集行動として、福岡合同労組の鴻池運輸・解雇撤回の現場闘争を移転した虎ノ門の東京支社に対して、申入れ行動と併せ

て三四名で貫徹した。

夕刻から豊島勤労福祉会館に場所を移し、全国争議団交流集会に向けた企画会議が開催された。各地からの争議報告、

各戦線からの課題別報告

と討論の後、来年三月二日、第三九回全国交流集会を関西で行う事を決定。具体的な場所は神戸か大阪かなど詳細は未定。

個別争議も弾圧全体との闘いで突破する

集会当日は、会場周囲を徘徊する私服警官、公

安に「監視をやめろ！集会妨害をするな！権力の介入を許さんぞ！」と抗議し、会館敷地から追いつ、検問突破闘争から開始。

十三時からの集会は連

帯挨拶から始まり、医療監察法 共謀罪 沖縄一坪反戦地主関東プロック 憲法と人権の日弁連をを目指す会 被曝労働を考えるネットワークの各戦線からのアピールに続き、全国争議団が登壇、九州、関西、静岡、関東の各当該が争議報告、決

意表明を行った。

南労会支部からは二十年闘争への連帯、共闘にたいする御礼と今後とも闘いを共に担う決意を述べさせてもらった。

基調提起は実行委を代表して東京中部労組、旭ダイヤ解雇当該が行った。個別の争議の勝利と前進は、反戦、反動諸立法反



全国の争議団の一員として支部からは長期争議への支援に感謝をのべた

対、様々な政治課題の追求の中で勝取られる事。刑事・民事の弾圧に晒され

苦闘、長期化する争議の現状を打ち破る為には全都、全国の争議を闘う仲間の共同闘争、各戦線との連帯行動を同時に進める必要がある事を訴えた。

続く決意表明は、争団連、ふじせ争議 動労千葉 堅川弾圧救援会の三団体。最後に決議文の採択とシュプレヒコールを参加者全員で力強く挙げ、集会を締めくくった。

渋谷大観衆の中をデモ残暑の日差しが強く降り注ぐ中、デモに出発、明治通りから原宿を経由、

渋谷の駅前を通過し終点の宮下公園へ、約3kmの道のり。繁華街の連続

でアピール効果抜群のコーズだ。一三〇名のデモ隊に沿道の私服は数十名はいるだろうか、「公安(警察)は、のさばるな!」

「デモの監視をやめろ!」
「争議弾圧を許さんぞ!」
「東京オリンピック反対!」
「野宿者排除をやめろ!」
「排外主義を許すな!」
等々のシュプレヒコールを挙げ、色とりどりのプラカードと旗を掲げ行進した。デモの終盤、渋谷駅頭のスクランブル交差点の“大観衆”の中を通過した。マスクミが持ち上げた、例のDJポリス

が、群衆をさばいた現場だが、今日の機動隊、警備車からのデモを制限、規制する機械的な声は、わが隊列のシュプレと「弾圧粉碎!闘争勝利!」のコールにかき消されていた。

集会前に三百円払って広い敷地を半周した新宿御苑の静寂と、続く集会、デモンストレーションの闘いの躍動と対照的な気分浸った一日だった。

港合同の組合員の皆さん!来年三月二日、関西で三度目開催の全国争議団・労組交流集会への参加とご協力を是非、よろしく願います。

南労会支部 I